

保証書

保証期間内に取扱説明書の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、お買い上げの販売店に本書をご提示の上、修理をご依頼下さい。

形名	木工用テーブルソー255mm STS-255ET		お買い上げ日	保証期間
			年 月 日	1年
お客様	住所	〒		
	ご芳名			
	電話	()		
販売店	住所			
	店名	☎ ()		

上記欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の落下、輸送等による故障または損傷。
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
 - (ニ) 本書の提示がない場合。
 - (ホ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
- 本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、当社までご相談下さい。
 - 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保存して下さい。
 - 本書は日本国内においてのみ有効です。

発売元

 藤原産業株式会社

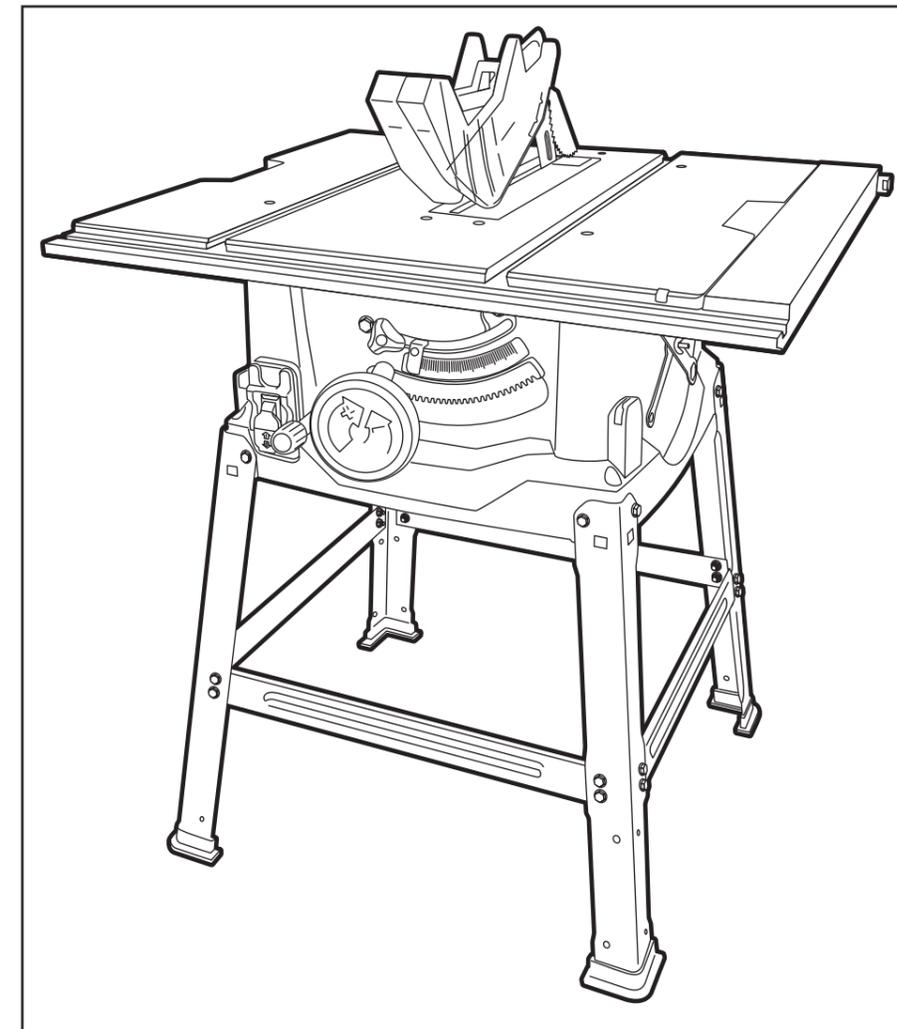
情報サービスセンター：〒673-0433 兵庫県三木市福井2115-1 Tel.0794-86-8200(代) Fax.0794-83-5160
近畿支店：〒673-0433 兵庫県三木市福井2115-1 Tel.0794-86-8210(代) Fax.0794-83-5160
中部支店：〒473-0902 愛知県豊田市大林町17丁目7-16 Tel.0565-25-2227(代) Fax.0565-25-2239
九州支店：〒841-0056 佐賀県鳥栖市蔵上1丁目220 Tel.0942-81-2307(代) Fax.0942-81-2308
鹿児島営業所：〒890-0073 鹿児島県鹿児島市宇宿2丁目22 Bayside marina 101号 Tel.099-285-1748(代)
広島営業所：〒731-0137 広島県広島市安佐南区山本1丁目25-11 Tel.082-875-7211(代) Fax.082-850-0311
東京支店：〒333-0842 埼玉県川口市前川3丁目19-9 Tel.048-268-3939(代) Fax.048-268-9191
熊谷営業所：〒360-0216 埼玉県熊谷市西野68-1 Tel.048-577-3292(代) Fax.048-577-3275
札幌営業所：〒003-0021 北海道札幌市白石区栄通15丁目8番36号 Tel.011-374-5528(代) Fax.011-374-5529
仙台営業所：〒984-0038 宮城県仙台市若林区伊在2丁目15番地の1 Tel.022-287-5739(代) Fax.022-287-5766



STS-255ET

木工用テーブルソー255mm

取扱説明書



このたびはSK11木工用テーブルソーSTS-255ETをお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。安全に正しくご使用いただくために、本取扱説明書をよくお読みいただき、安全にお使いください。また、この取扱説明書はお手元に大切に保管しておいてください。

*外観及び使用などは製品改良のため、一部変更することがありますのでご了承ください。

目次

仕様・各部名称・用途 3

仕様	3
各部名称	3
用途	3

安全上のご注意 4~11

安全確保のために	4
電動工具を安全にお使いいただくために	5~8
テーブルソー安全にお使いいただくために	9~11

準備 12~15

付属品	12
ご使用前の準備・点検	13~14
スタンドの組み立て方	15

使い方 16~29

ご使用前の各種の調整	16~17
付属品の取り付け・使用方法	18~24
切断作業の注意事項	24
スイッチの操作方法	25
切断作業	26
収納について	27
保守・点検	28~29

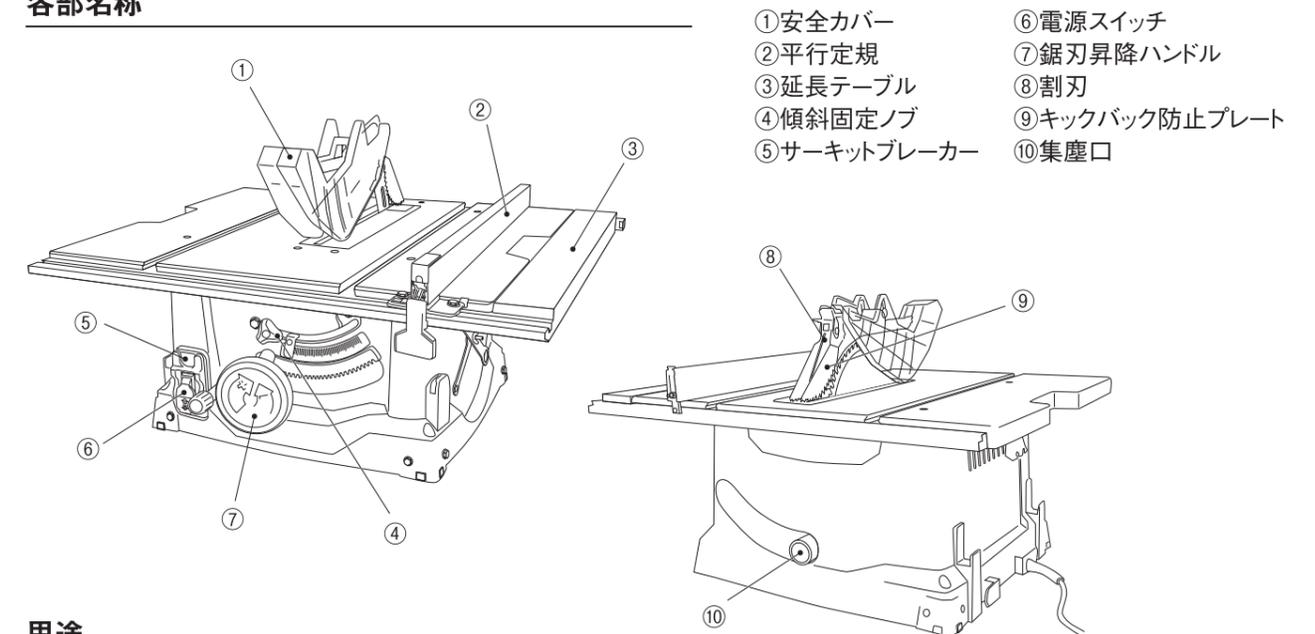
仕様・各部名称・用途

仕様

品番	STS-255ET
仕様	
モーター	直巻整流子電動機
電圧	単相交流100V
電流	15A
周波数	50-60Hz
消費電力	1470W
回転数	4000min ⁻¹
鋸刃寸法	外径255mm×内径25.4mm
最大切り込み深さ	90度・・・83mm
	45度・・・60mm
機体寸法	奥行約640mm×幅約720mm x 高さ約470mm (安全カバー含む)
テーブル寸法	奥行約570mm×幅約1000mm (テーブル延長時 幅約1000mm)
本体質量	約16.5kg
スタンド質量	約3.0kg
電源コード長	約1.8m
絶縁方式	二重絶縁構造
定格使用時間	30分

*改良のため、仕様および形状などは変更する場合がありますので、御了承ください。

各部名称



用途

・各種木工材料の切断
注)本製品では、金属・石材・炭(竹炭・木炭)など木工材料以外の切断作業はしないでください。

安全上のご注意

安全確保のために

- 火災・感電・けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」のすべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に必ず保管してください。
- 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

警告表示・注意表示について

- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生ずる被害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 **警告** : この表示の欄は、「使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

 **注意** : この表示の欄は、「使用者が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

「△注意」に記載された事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注意 この表示の欄は、製品の据付、操作、メンテナンスに関する重要な注意事項です。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

絵表示について

- お守りいただく内容の種類を、以下の絵表示で区分し、説明しています。

 : この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。

 : この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。

 : この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。

電動工具を安全にご使用いただくために

△ 警告

■作業場の環境について



作業場はいつもきれいに保ってください。
●ちらかった場所や作業台は事故の原因となります。



子供を近づけないでください。
●作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
●作業者以外、作業場へ近づけないでください。



作業場の周囲状況も考慮してください。
●電動工具は、雨中で使用したり湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。



●可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。

■電気に関する安全事項



感電に注意してください。
●電動工具を使用中、身体を、アースされているものに接触させないようにしてください。
(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)



コードを乱暴に扱わないでください。
●コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
●コードを熱、油、角のとがったところに近づけないでください。



屋外使用に合った延長コードを使用してください。
●屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。



騒音防止規制について
騒音に関しましては、法令や各都道府県などの条例で定められた規制があります。ご近所に迷惑をかけないようにご使用ください。

次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- 使用しない、または修理する場合。
- 刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合
- その他危険が予想される場合



電動工具は、注意深く手入れをしてください。

- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。



よく読む



点検・確認



- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースなどが切れないようにしてください。

■修理とメンテナンス



禁止

正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

- 取扱説明書及びカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やケガの原因となる恐れがありますので使用しないでください。



電動工具の修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。

- この製品は、該当する安全規格に適合しているので、改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店にお申し付けください。
- 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく事故やケガの原因となります。
- 電源コードが破損した場合、交換には専門知識が必要ですので、販売店にお申し付けください。



分解禁止

テーブルソーを安全にご使用いただくために

- 先に電動工具を安全にお使いいただくための重要事項について述べましたが、テーブルソーをご使用の際には、さらに次に述べる「警告・注意事項」を守ってください。

⚠ 警告

■使用電源に関して



使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。

- 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因となります。

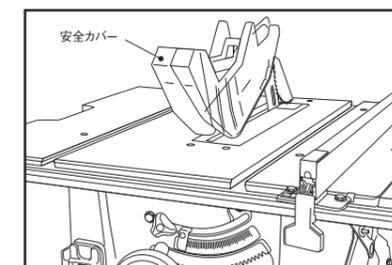
■安全カバーについて



禁止

安全カバーは必ず取り付けて使用してください。また円滑に動くことを確認してください。

- 外したまま使用したり、円滑に動かないと、けがの原因となります。



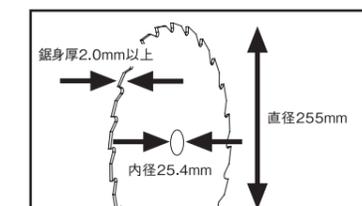
■鋸刃に関して



禁止

鋸刃は、銘板に表示してある範囲内の鋸刃を使用してください。特に鋸身の厚さは、割刃の厚さより厚い鋸刃を使用してください。

- キックバック（反発）などにより、けがの原因となります。



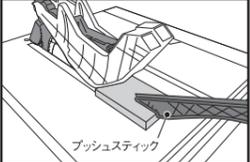
■切断作業に関して

 **使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用して使用しないでください。**
●鋸刃の回転に巻き込まれ、けがの原因となります。

回転部注意

 **使用中は、工具類（鋸刃など）や回転部、切りくずなどに手や顔を近づけないでください。**
●けがの原因となります。

 **手が鋸刃に接近する場合は、必ずプッシュスティック（押し棒）などの治具を使用してください。**



プッシュスティック

 **使用中は、材料をしっかり保持し、こじれないように切断してください。**
●材料がこじれますと、強い反発力が生じ、けがの原因となります。

 **キックバックに注意してください。**
●切断途中で、鋸刃を回転させたまま材料を戻そうとすると、強い反発力（キックバック）が生じ、けがの原因となります。材料を戻す場合は、スイッチを切り、回転が完全に停止してから戻してください。

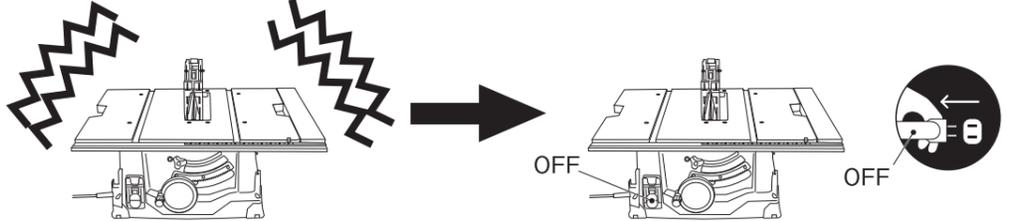
禁止

■点検・修理に関して

 **使用中、機械の調子が悪かったり、異常音が出たときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。**
●そのまま使用していると、けがの原因となります。

点検・確認

異常音



OFF OFF

 **誤って落としたり、ぶつけたときは、工具類（鋸刃など）や本体に破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。**
●破損や亀裂、変形があると、けがの原因となります。

点検・確認

⚠ 警告

 **刃物類（鋸刃など）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。**
●確実にしないと、はずれたりし、けがの原因となります。

よく読む

 **鋸刃にヒビや割れなどの異常がないことを確認してください。**
●鋸刃が破損し、けがの原因となります。

点検・確認

 **テーブルの上に、工具や切断片などを放置したまま作業しないでください。**
●テーブルの上のものが飛散し、けがの原因となります。

 **鋸刃の回転中は、切断片を取り除かないでください。**
●鋸刃に巻き込まれて、けがの原因となります。

禁止

 **材料に釘などの異物がないことを確認してください。**
●刃こぼれだけでなく、反発により思わぬけがの原因となります。

 **材料を押す手を、鋸刃の延長線上に置かないでください。**
●けがの原因となります。

禁止

 **平行定規は、確実に固定してください。**
●固定が不十分だと、材料がこじれてけがの原因となります。

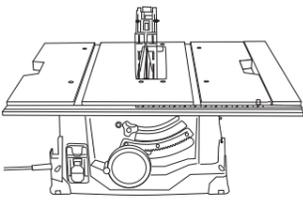
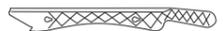
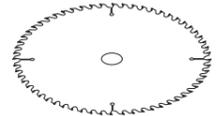
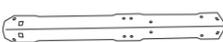
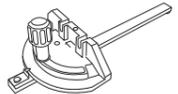
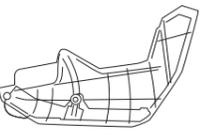
 **作業台がわりにテーブルの上に乗らないでください。**
●思わぬ事故の原因となります。

禁止

準備

付属品

●組み立て前に各部品の数量を確認願います。

部品名・形状	数量	チェック欄	部品名・形状	数量	チェック欄
本体 	1		ブッシュスティック(押し棒) 	1	
			キックバック防止プレート 	1	
鋸刃(チップソー) ※テーブルソー本体に装着済み 	1		スタンドフレーム(A) ※全長約59cm 	4	
			スタンドフレーム(B) ※全長約54cm 	2	
平行定規 	1		スタンドフレーム(C) ※全長約49cm 	2	
角度定規 	1		スタンドパッド 	4	
メガネレンチ(13×10mm) ※テーブルソー本体側面に装着済み 	1		プレートナット(M6x1.0) ※テーブルソー本体底面四隅に装着済み 	8	
メガネレンチ(21×10mm) ※テーブルソー本体側面に装着済み 	1		10mmナット(M6x1.0) 	16	
安全カバー 	1		10mmボルト(M6x1.0) ※8本は、テーブルソー本体下部4隅に仮止め 	24	
鋸刃昇降ハンドル用ノブ一式 (エンドキャップ、シャフトボルト、ノブボディ、ナット) 	各1個		六角棒レンチ5mm(プラスネジ付き) 	1	

※部品不足がありましたら、お買い求めいただきました販売店が弊社までお問い合わせください。

ご使用前の準備

■作業場に関して



- 作業場は整頓をし、明るくしてお使いください。
- 作業をする場所がページの「電動工具の安全上のご注意」にかかげられているような適切な状態になっているかどうか確認してください。

■延長コードに関して

⚠ 警告



- 延長コードは損傷のないものを用意してください。

電源の位置が離れていて継ぎコードが必要なときは、製品を最高の能率で故障なくご使用いただくため、電流を流すのに十分な太さのものをできるだけ短くしてご使用ください。

表は、使用できるコードの太さ(導体公称断面積)とその最大長さを示しています。

コードの太さ (mm ²)	銘板記載の定格電流値で使用する最大の長さ		
	～5A	5～10A	10～15A
1.25	20m	—	—
2	30m	15m	10m
3.5	50m	30m	20m

*延長コードは本機のコードと同じ被覆を施したコードを使用してください。

■アース・漏電遮断器設置の確認



点検・確認

ご使用にさきだち、電源に労働安全衛生規則や電源設備の技術基準などに規定された感電防止用漏電遮断器(以下、漏電遮断器と言います)が設置されていることを確認してください。

ご使用前の点検

警告

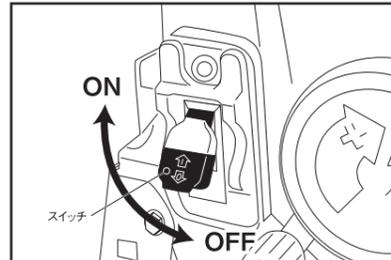


- ご使用前に次のことを確認してください。
以下の1~3項につきましては、電源プラグをコンセントに差し込む前に確認してください。



1. 電源スイッチが切れていることを確かめます。
●スイッチが入っていることを知らずに、電源プラグをコンセントに差し込みますと、不意に動き思わぬけがの原因になります。

※スイッチは、赤い部分をつまんで上へ引き上げますと本機が作動し、赤い部分を下へ下げますと停止します。



点検・確認



禁止

2. 電源を確かめます。

- 本機は100V用です。200V電源に接続しますと、モーターの回転が異常に高速となり、破損する恐れがあります。また、直流電源で使用しないでください。機械の損傷を招くだけでなく危険です。

3. 鋸刃の締め付けを確かめます。

- 工場での組立の際は、すぐにご使用いただけるように、鋸刃を締め付けてありますが、念のためにお確かめください。

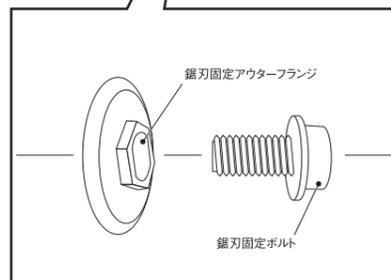
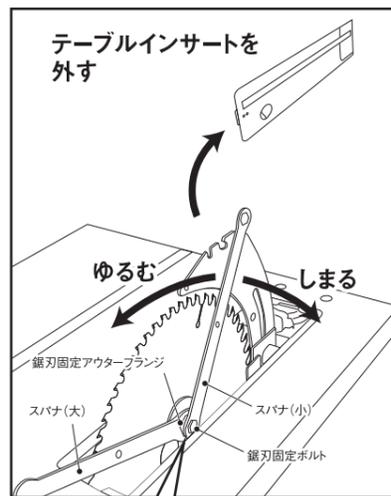


点検・確認

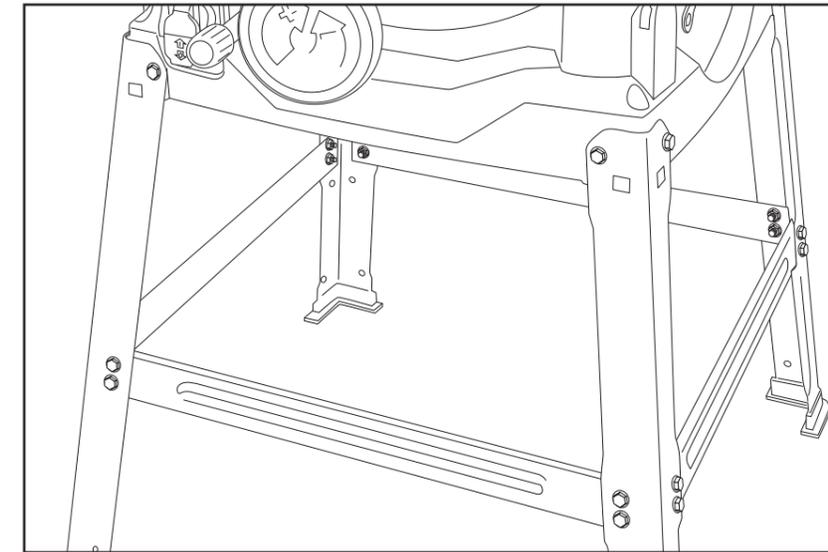
鋸刃の回り止めのため、鋸刃固定アウターフランジ上面の六角部21mmに、付属のスパナ(大)(21×10mm)を取り付けてください。

次に、鋸刃固定ボルト(六角13mm)に付属スパナ(小)(13×10mm)を取り付け、そのまま奥へ押し倒すと締め付けできます。

※詳しくはP29“鋸刃の交換方法”の項をご参照ください。
※付属スパナはテーブルソー本体に向かって右側側面にねじ止めしてあります。



■スタンドの組立方法



※組み立て作業は、本体を横倒しにの状態で行うことをお勧めします。
※すべてのボルト、ナットを取り付けるまでは仮止め程度で締め付けてください。

(手順1)

テーブルソー本体四隅にある10mm六角ボルトをゆるめて取り外し、スタンドフレーム(A)を取り付けてください。スタンドフレームにある角穴に、テーブルソー側の突起が入るよう取り付けて、六角ボルトで固定してください。

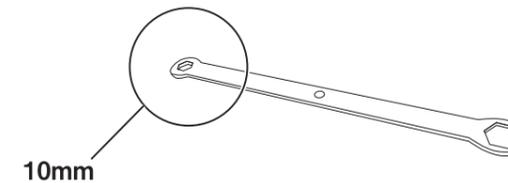
(手順2)

スタンドフレーム(A)の内側にそれぞれスタンドフレーム(B)とスタンドフレーム(C)を、10mm六角ボルトとナットで取り付けてください。

※スタンドフレーム(B)はテーブルソー本体に対して前後位置、
スタンドフレーム(C)は左右位置になります。
※スタンドフレーム外側よりボルト、内側よりナットを取り付けてください。

(手順3)

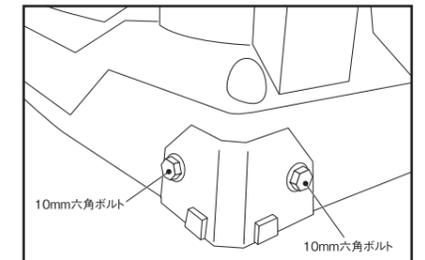
全てのフレームが取り付けできましたら付属の2本のメガネレンチ後方部にあります10mmスパナを使って、全てのボルト、ナット頭をしっかりと締め付けてください。



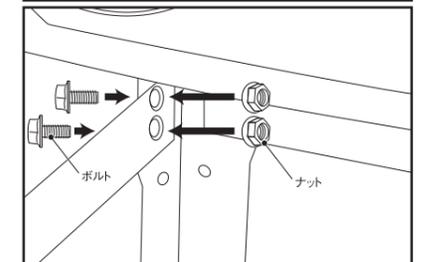
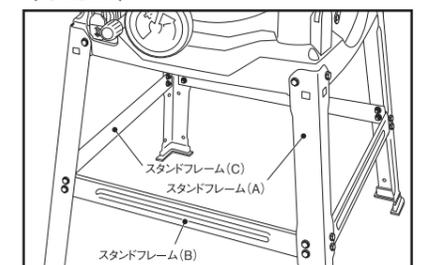
(手順4)

スタンドフレーム(A)にスタンドパッドを取り付けてください。

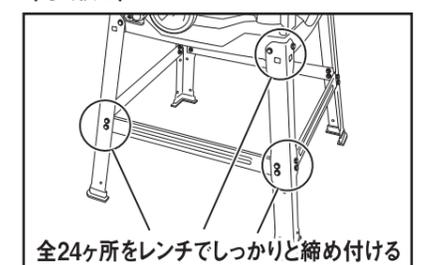
(手順1)



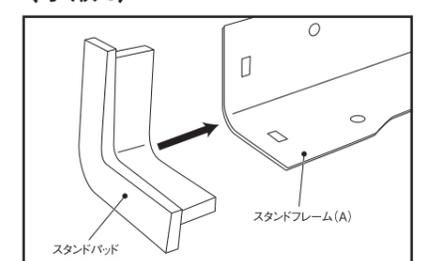
(手順2)



(手順3)



(手順4)



使い方

警告



禁止

万一の事故を防止するために、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

●プラグを電源につないだまま行くと事故の原因になります。

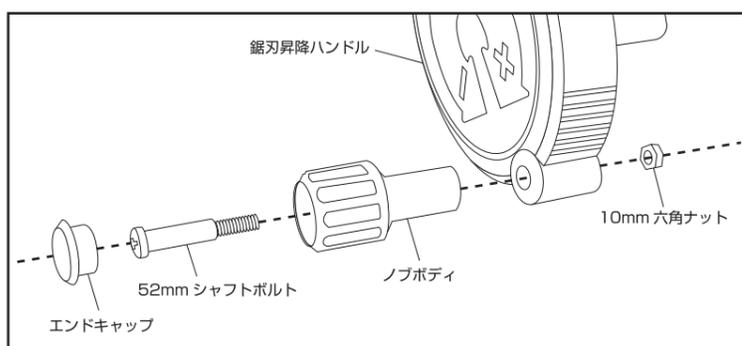
安全カバーは身体が鋸刃に触れるのを防ぐためのものです。安全カバーの作動が不完全なまま使用したり、安全カバーを上げてひもなどで固定したり、取り外したりして使用することは大変危険なため、絶対にしないでください。

鋸刃昇降ハンドル用ノブの取り付け方法

・鋸刃昇降ハンドルにありますノブ取り付け用穴の裏側に、10mm六角ナットを取り付けてください。

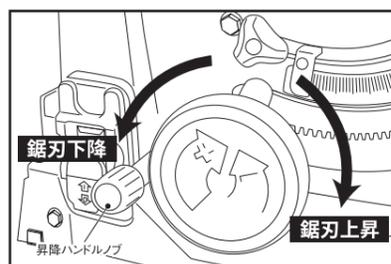
・ノブボディにシャフトボルトを通して、取り付け穴に差し込み時計回りにねじ込んでください。

・シャフトボルトをしっかりと締め付け、ノブボディにエンドキャップを取り付けてください。



鋸刃の高さ調整

・本体正面にある鋸刃昇降ハンドルを時計回りに回すと鋸刃は上昇し、反時計回りに回すと鋸刃は下降します。



鋸刃の調整

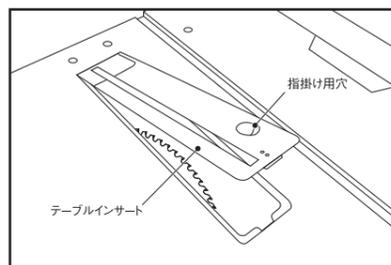
安全カバーを取り付けるためには、鋸刃を最高位置まで引き上げることが必要です。

・テーブルインサート側面の指掛け用穴に指をかけて、テーブルインサートを前方へ上方へ引き上げて、テーブルから取り外してください。

・鋸刃昇降ハンドルを時計回りに回して、鋸刃を最高位置まで上昇させてください。

・鋸刃は鋸刃の厚みより少し薄く(約2.5mm)、切溝に入っていくことで、キックバックのリスクを軽減します。

・鋸刃はテーブル下に収納することができますが材料を後方へ送り込んで切断する場合や、鋸刃が露出している場合は必ず、所定の位置へ引き出して作業をしてください。



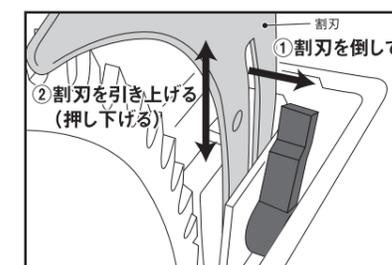
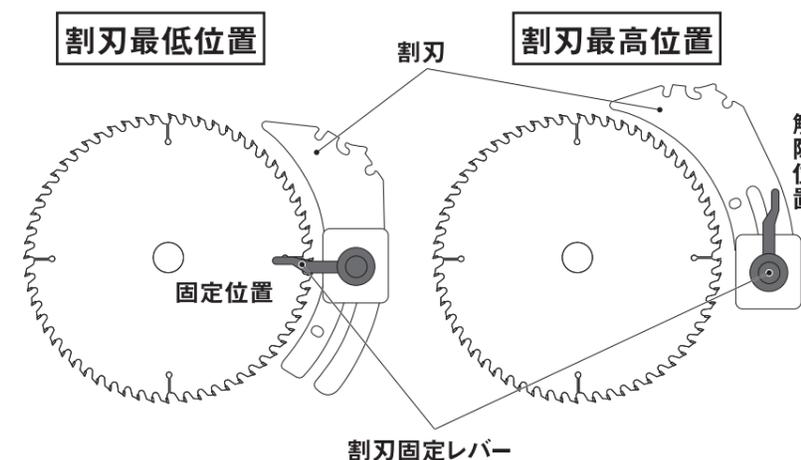
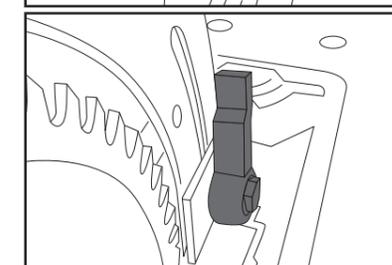
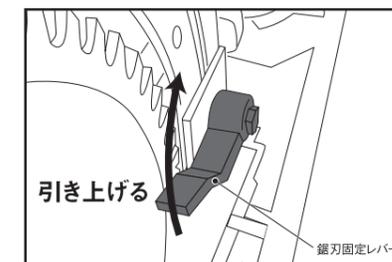
(鋸刃位置調整方法)

1. 鋸刃固定レバーを水平から垂直位置へ引き上げて鋸刃の固定を解除してください。

2. 鋸刃を持ち、固定レバーの方向へ倒すと(①)、鋸刃固定穴がガイドピンから外れて鋸刃位置を上下に調整できます。(②)

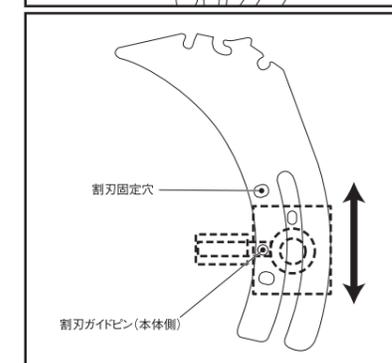
3. 鋸刃底部にある固定穴にガイドピンが入って固定されるまで、鋸刃を引き上げてください。

※テーブル下へ鋸刃を収納する場合は、押し下げる

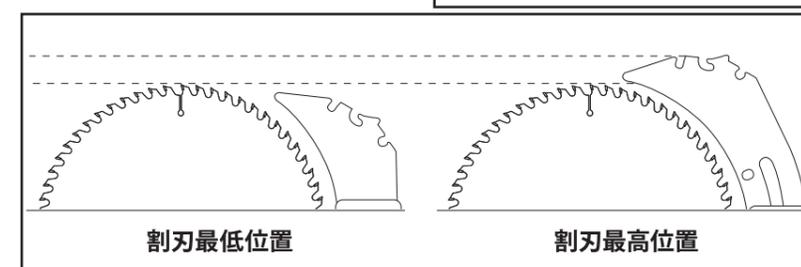


4. 鋸刃を放し、鋸刃固定レバーを垂直から水平方向へ押し倒して鋸刃を固定してください。

※固定レバーが固くて倒せない場合は、鋸刃固定穴とガイドピンの位置がずれています。固定レバーを解除して鋸刃位置を上下させて鋸刃固定穴/ピンの上下位置を調整してください。

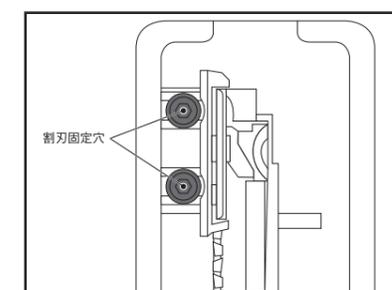


5. 鋸刃が固定できましたら、鋸刃が鋸刃と一直線上になっているか確かめてください。



※一直線になっていない場合

ガイドピンと鋸刃の固定穴の位置がずれている可能性があります。再度固定レバーを解除して、鋸刃固定穴、ガイドピンの上下位置を調整してください。それでも一直線にならない場合は鋸刃横の六角穴付きボルト2本を付属の六角棒レンチ5mmで反時計回りに回して緩め鋸刃の位置を左右に調整し、調整出来たら再度締め付けてください。

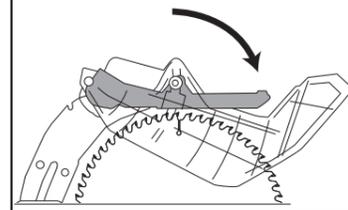
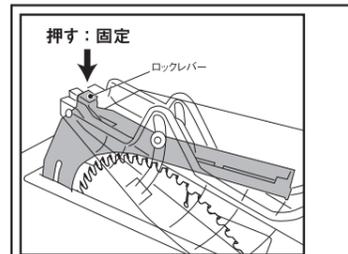
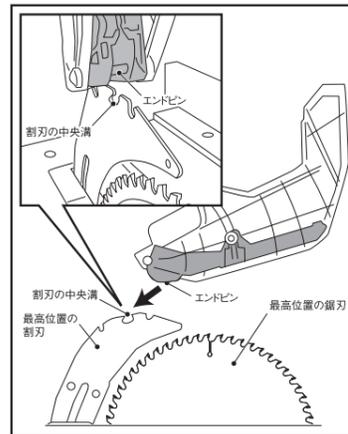


6. テーブルインサートをテーブル中央の元の位置に取り付けてください。テーブルインサート奥→手前の順番で取り付けてください。

■安全カバーとキックバック防止プレートの取り付け

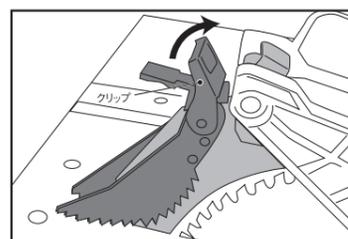
(安全カバーの取り付け)

1. 鋸刃を最高位置まで上昇させてください。
2. 割刃を最高位置まで引き上げて、固定してください。
3. テーブルインサートがテーブル中央に取り付けられていることを確認してください。
4. 安全カバーのエンドピンを、割刃の中央溝の奥までしっかりと差し込んでください。ロックレバーを引き上げた状態で、安全カバーを前方方向へ倒してください。
5. 安全カバーがテーブルに対して平行になるまで倒したら、ロックレバーを押して固定してください。
6. 安全カバーを持ち上げて、固定されていることを確認してください。



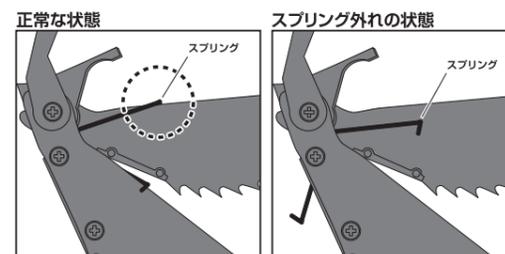
(キックバック防止プレートの取り付け)

1. キックバック防止プレートのクリップ部を指でつまんで閉じてください。
2. キックバック防止プレートのギザ刃を下向き(テーブル側)にし、プレートの溝を、割刃の最後尾にある溝にしっかりと押し込んでください。
3. キックバック防止プレートをそのまま割刃の後方部へ押し付けてクリップ部を引き上げ、固定してください。
4. キックバック防止プレートを持ち上げて、固定されていることを確認してください。



⚠注意 キックバック防止プレートのスプリング外れについて

- ・キックバック防止プレートのスプリングが側面から外れることがございます。その状態ではギザ刃プレートが正常に作動しませんので、スプリングを正常な位置に取り付けてご使用願います。
- ・2本のスプリングを、ギザ刃の反対側の平らな面に引っ掛けた状態でご使用願います。

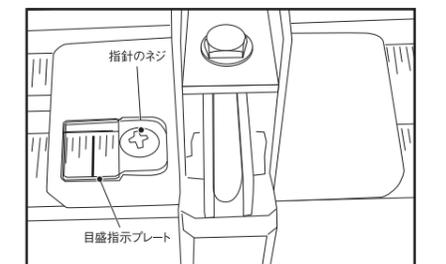
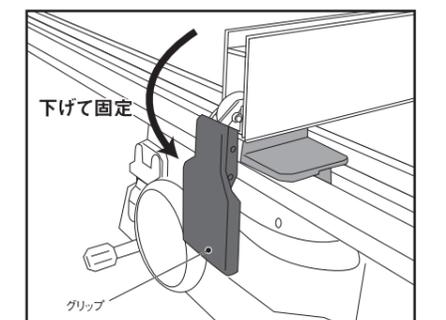
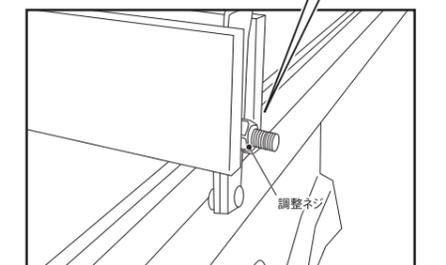
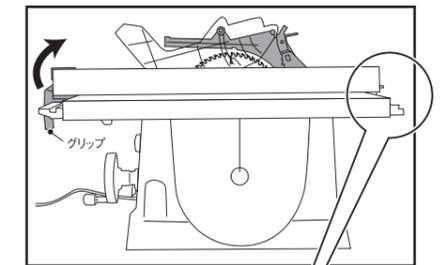


■平行定規の取り付けと調整

■平行定規の調整

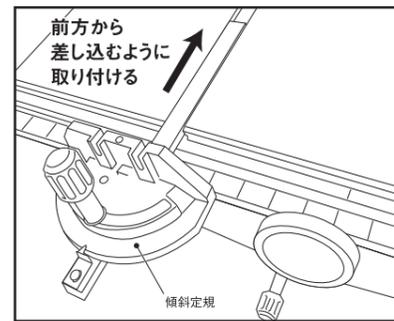
- 平行定規のグリップを上げて、テーブル後方の端に平行定規先端部を引っ掛けて、テーブルのレールと定規の溝を合わせてテーブルの端から差し込むように取り付けてください。グリップを下げると固定できます。
- 平行定規の固定がゆるい、また固すぎて固定できない場合は、平行定規にある調整ネジを回して調整してください。調整ネジを時計方向に回すときつくなり、反時計方向に回すとゆるくなります。
- 平行定規の目盛指示プレートを調整してください。平行定規を任意の位置に固定し、鋸刃から平行定規までの距離を測って、平行定規の目盛指示プレートが距離と同じ目盛を指し示していることを確認してください。

鋸刃からの距離と、角度定規の目盛指示プレートが示す目盛りがずれている時は、指針のネジをゆるめて距離と目盛が合うように調整してください。

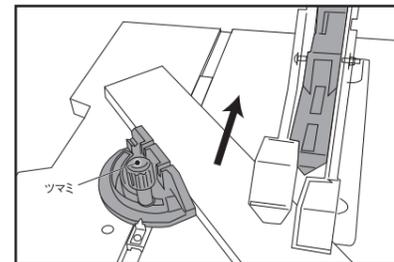


■角度定規の使用方法

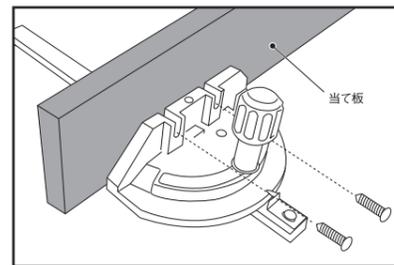
1. テーブル上の左右2本の太い溝の端部から、角度定規のバーを差し込むように取り付けてください



2. 角度定規にありますつまみをゆるめて、お好みの角度に合わせて材料を角度定規の面に当て、静かに前方方向へ送り切断します。

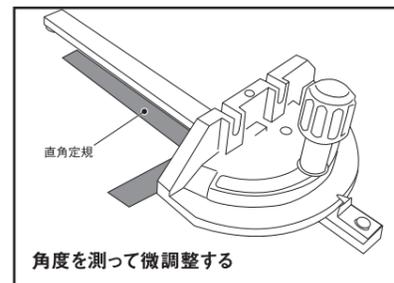


3. また、角度定規の面に当て木を固定することで、より材料を安定して保持できます。例えば、角度定規の面より長く、幅のある当て木、当て板を固定することで、長尺の角材をより安定して保持できるようになります。



※角度定規についています角度目盛につきましては、目安としてご使用ください。より正確な角度切断をされる際は、直角定規やスコヤなどを用いて調整を行ってください。

注意 切断中に角度定規から材料がずれたり、離れたりしないようにしっかりと保持してください。特に、斜めに切断する時は、材料が動きやすいので、十分注意してください。当て木表面にあらかじめ紙やすりなどを貼付しておきますと、材料の滑り止めの効果が得られます。



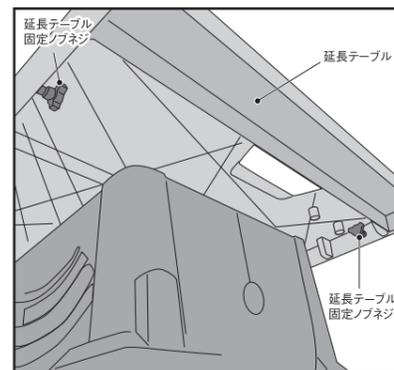
■延長テーブルについて

・本体正面右側のテーブルは、作業に応じて引き出し延長することができます。(約29cm)

1. 作業テーブルから平行定規を取り外すか、平行定規のグリップを上げて、固定を解除してください。

2. 延長テーブルを固定しているノブネジを反時計回りに回してゆるめてください。(作業テーブル正面より右側下面前後2か所)

3. 延長テーブルを作業に応じて任意に引き出してください。延長テーブルの引き出し位置が決まりましたら、固定ノブネジを締め付けて、延長テーブルを固定してください。



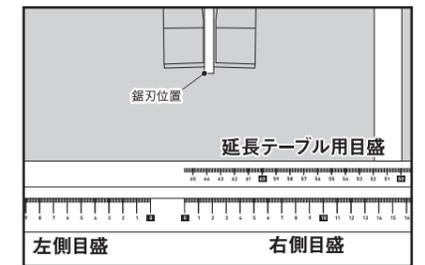
■目盛について

・テーブル面手前には目盛が3種類表示してあります。

・P19の“平行定規の取り付けと調整”の項を参照し、鋸刃側面から平行定規までの距離が、平行定規の目盛指示プレートと左右それぞれの目盛で示されるようプレート位置を調整してください。

・テーブルを正面にして、鋸刃より右側に平行定規を取り付ける場合は右側目盛を読み取ってください。

鋸刃より左側に平行定規を取り付ける場合は、左側目盛を読み取ってください。



(延長テーブル用目盛使用方法)

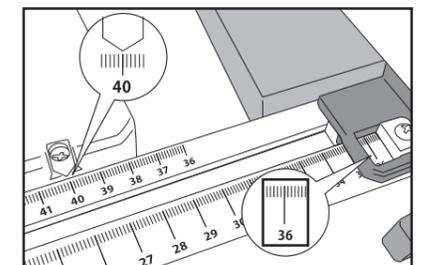
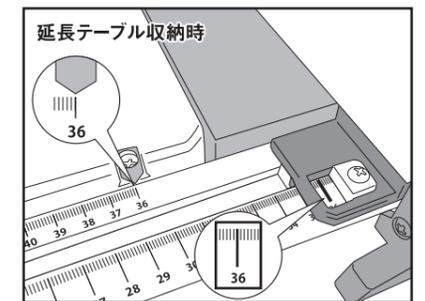
・テーブルを正面にして、右側上段にある目盛は、延長テーブル使用時に読み取る目盛です。

1. 「延長テーブル用目盛」は、平行定規が「右側目盛」の“36”(センチ)位置に固定されている時の、鋸刃右側側面から平行定規までの距離を示します。

2. 延長テーブルが収納状態(延長なし)の時には、平行定規を右側目盛“36”(センチ)に固定しますと、延長テーブル用目盛は“36”(センチ)を示します。

3. 平行定規を解除し延長テーブルを引き出し、固定した後、平行定規を右側目盛“36”(センチ)の位置で固定しますと、鋸刃右側側面より平行定規までの距離が、延長テーブル用目盛に示されます。

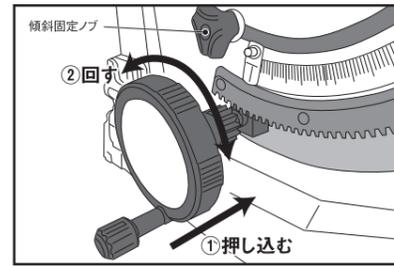
※右図例は、平行定規を右側目盛“36”(センチ)の位置で固定し、鋸刃から平行定規までの距離が40センチになるよう延長テーブルを引き出した状態です。



■鋸刃傾斜角度の調整

※昇降ハンドルを押し込んだ状態で回転させることで、鋸刃の傾斜角度が変更されます。

- 1.傾斜固定ノブを少しゆるめてください。
- 2.昇降ハンドルを本体側へ押し込み、そのまま昇降ハンドルをゆっくりと回してください。
- 3.好みの角度になりましたら、傾斜固定ノブを締め付けてください。

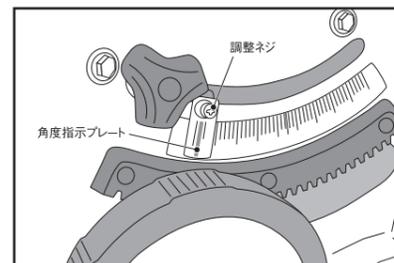
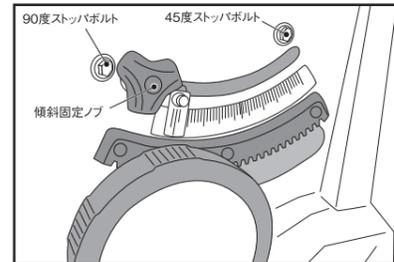


■傾斜角度ストップボルトの調整

- ・本体正面には、傾斜角度が90度、45度で止まるよう調整するストップボルトがあります。
- ・鋸刃傾斜角度調整時に、ボルトに当たって止まる位置で、以下の図のようになる場合は、ストップボルトの左右位置の調整が必要です。

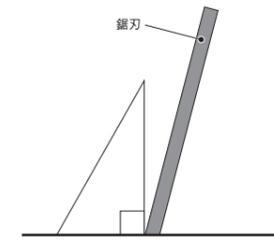
(ストップボルト調整)

- 1.傾斜固定ノブを少しゆるめてください。
- 2.定規などを使い、鋸刃傾斜角度を90度(または45度)に調整してください。
- 3.傾斜固定ノブをしっかりと締め付けて、鋸刃を固定してください。
- 4.90度(または45度)ストップボルトをゆるめて、P23の①～④の状態に応じて、ボルトが止まる位置まで左右に動かした後、しっかりと締め付けて固定してください。
- 5.この時に角度指示プレートの赤線先端部が0度(あるいは45度)の位置を示すよう調整してください。角度指示プレートは、プラスドライバーでネジをゆるめて調整してください。



(90度調整時正面から見て)

①鋸刃が90度より右側に傾斜している

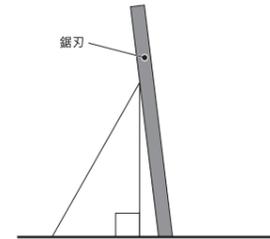


(原因)90度ストップボルトが左に寄り過ぎている



90度ストップボルト位置を右に移動

②鋸刃が90度より左側に傾斜している



(原因)90度ストップボルトが右に寄り過ぎている



90度ストップボルト位置を左に移動

(45度調整時正面から見て)

③鋸刃が45度以上左に傾斜

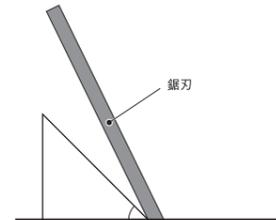


(原因)45度ストップボルトが右に寄り過ぎている



45度ストップボルト位置を左に移動

④鋸刃が45度まで傾斜しない



(原因)45度ストップボルトが左に寄り過ぎている

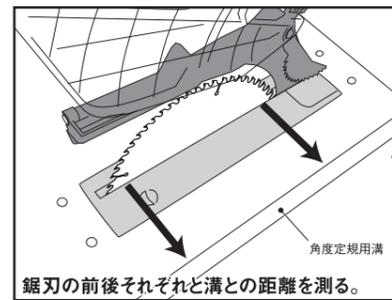


45度ストップボルト位置を右に移動

■鋸刃の平行調整

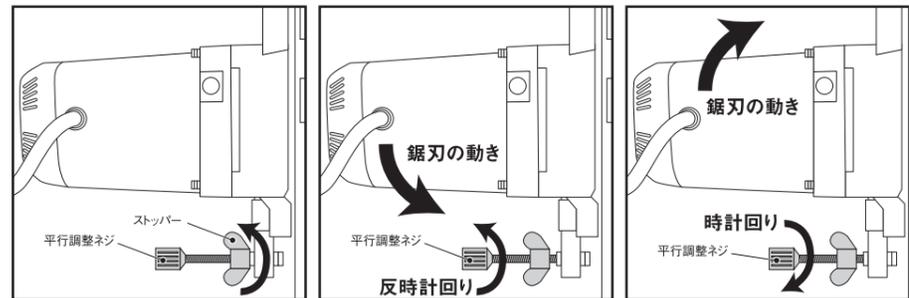
※鋸刃と、テーブル面上の角度定規用溝が平行であることを確認してください。

- 1.角度定規の溝を使って、鋸刃後部と溝との距離を測ってください。
- 2.同様に鋸刃前部と溝との距離を測ってください。
※前後の距離差が1mm以上ありましたら、調整が必要です。



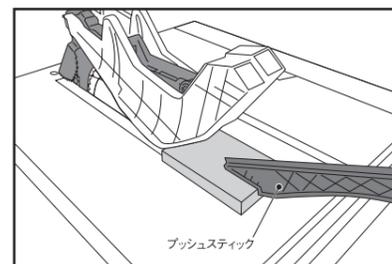
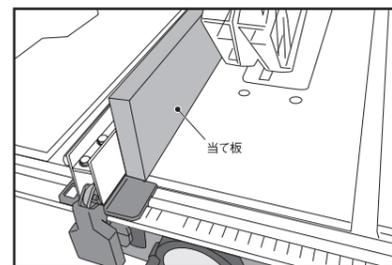
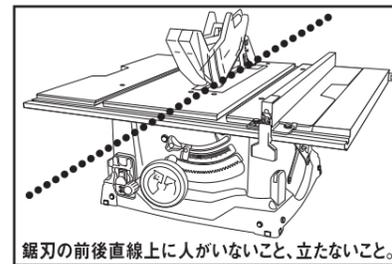
3.本体裏側平行調整ネジを回して調整します。

- ①ストッパーを反時計回りに回して緩めます。
- ②平行調整ネジを回して微調整してください。
- ③調整が終わりましたら再びストッパーを時計回りに回して固定してください。

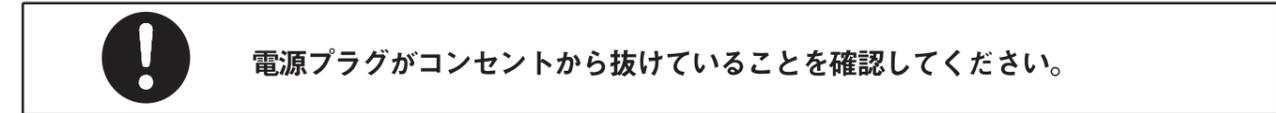


■切断作業の注意事項

- 1.鋸刃の左側あるいは右側に立って作業をし、鋸刃正面に立って作業しないでください。また、鋸刃前後一直線に人がいない状態で作業してください。
- 2.平行定規とテーブル面との間には1~2mmの隙間が生じます。3mm以下の薄物を切断される場合はあらかじめ、平行定規に当て板をし、下面の隙間をなくしてから作業を行ってください。
- 3.厚さ30mm以下の木材を切断する場合は鋸刃高さを、材料より約10mm程度多く調整し、材料の厚みが30mmを超える場合は鋸刃を最高位置まで上げて作業を行ってください。
- 4.材料が鋸刃に接近する場合は必ず、プッシュスティック(押し棒)を使用してください。
- 5.材料の急激な送りは避けてください。モーターに負担がかかり故障の原因となります。
- 6.安全カバーは直角切断、傾斜切断時に、スムーズに作動し、また、鋸刃を覆うことを確認してから作業を始めてください。
- 7.切断途中で鋸刃を回転させたまま材料を手前に戻さないでください。
- 8.切断中は材料をこじたり、浮かしたりしないでください。
- 9.材料を押す手を、鋸刃の前後延長線上に置かないでください。

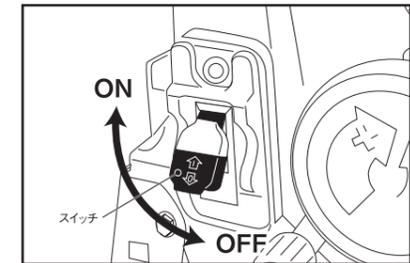


■スイッチの操作方法



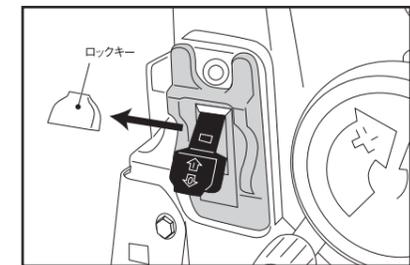
1.ONとOFF

本体前面にありますスイッチの赤い部分をつまんで上へ引き上げますと本機が作動します。赤い部分を下へ下げますと停止します。



2.ロックキーについて

スイッチOFFの状態、スイッチの黄色のロックキーを手前に引き抜くことで、スイッチをロックすることができます。ロックを解除する時は、ロックキーをしっかりと元の位置に差し込んでください。

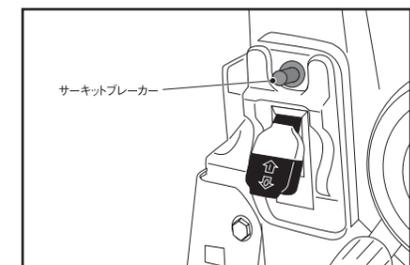


■サーキットブレーカーについて(P3の“各部の名称”参照)

本機にはモーターに通常以上の負荷がかかった際に、自動的にモーターが止まるようサーキットブレーカーが装備されています。

もし、作業中にモーターが停止した場合、ただちに作業を中断し電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのうえで以下の事項をご確認願います。

1. 材料を必要以上に押し付けるなどしてモーターに無理がかかっていないか
2. 鋸刃の切れ味が悪くなっていないか。
3. 電源元がテーブルソーに必要十分な電力を供給出来る状態か
(タコ足配線、延長コードなどを使用していないか)
4. 延長コードをご使用の際はこの取扱説明書 13 ページを参考に適切な長さとお太さでご使用ください。

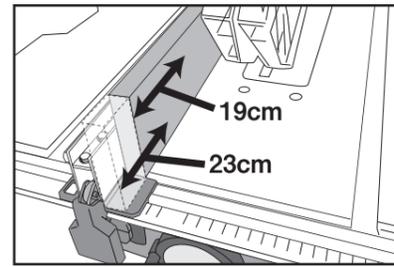


以上の点をご確認いただき、モーターに負荷がかかる要因(過電流となる要因)を取り除いていただいたうえで、サーキットブレーカーを押し戻してご使用を再開してください。

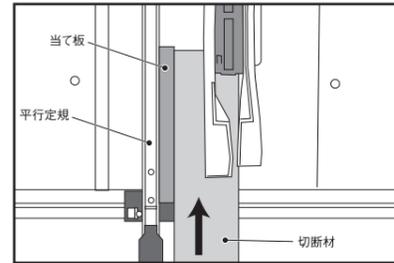
過負荷になる原因を解消されないうまま、サーキットブレーカーを押し戻してご使用を続けられますと、サーキットブレーカーが通常使用時でも頻りに作動するようになります(飛び癖がつく)使用できなくなります。

■縦挽き切断

1. 平行定規をテーブル面に固定し、平行定規の手前から鋸刃直前までの長さ(19~23cm)で、あらかじめ厚みの均一な当て板を、厚手の両面テープや接着剤などで平行定規側面にしっかりと固定して下さい。
 当て板長さ：テーブル手前端面より鋸刃手前まで約23cm
 当て板長さ：平行定規手前端面より鋸刃手前まで約19cm



2. テーブルの上に切断材をのせて、当て板に切断材の端面を当ててください。
3. 鋸刃が切断材に触れていない状態でスイッチを入れてください。

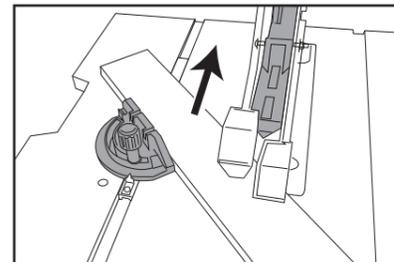


4. 切断材を両手でしっかりと保持して、鋸刃の回転が完全に上昇し安定したら、そのまま静かに前方方向へ送材し、切り終わるまでその状態を保ってください。

※長い材料を縦挽き切断する時は、テーブル後方テーブルソーと同じ高さの補助台を併用してください。

■横引き切断

1. 平行定規を取り外してください。
2. 角度定規に材を当ててしっかりと保持してください。
3. 鋸刃が切断材に触れていない状態でスイッチを入れてください。
4. 切断材を両手でしっかりと保持して、鋸刃の回転が完全に上昇し安定したら、そのまま静かに前方方向へ送材し、切り終わるまでその状態を保ってください。

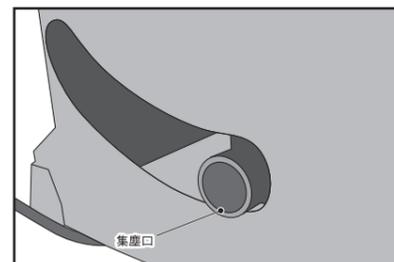


■集塵口と集塵

テーブルソー本体背面には集塵機を設置できる集塵口があります。お手持ちの集塵機を接続することで、粉塵の少ない快適な作業ができます。

集塵口の直径は、外径約39.5×内径32mmです。

※別売のSK11集塵機接続アダプター-SAD-HS1を集塵口に取り付けされると、ホース内径が22~39mmまでの集塵機の接続ができます。



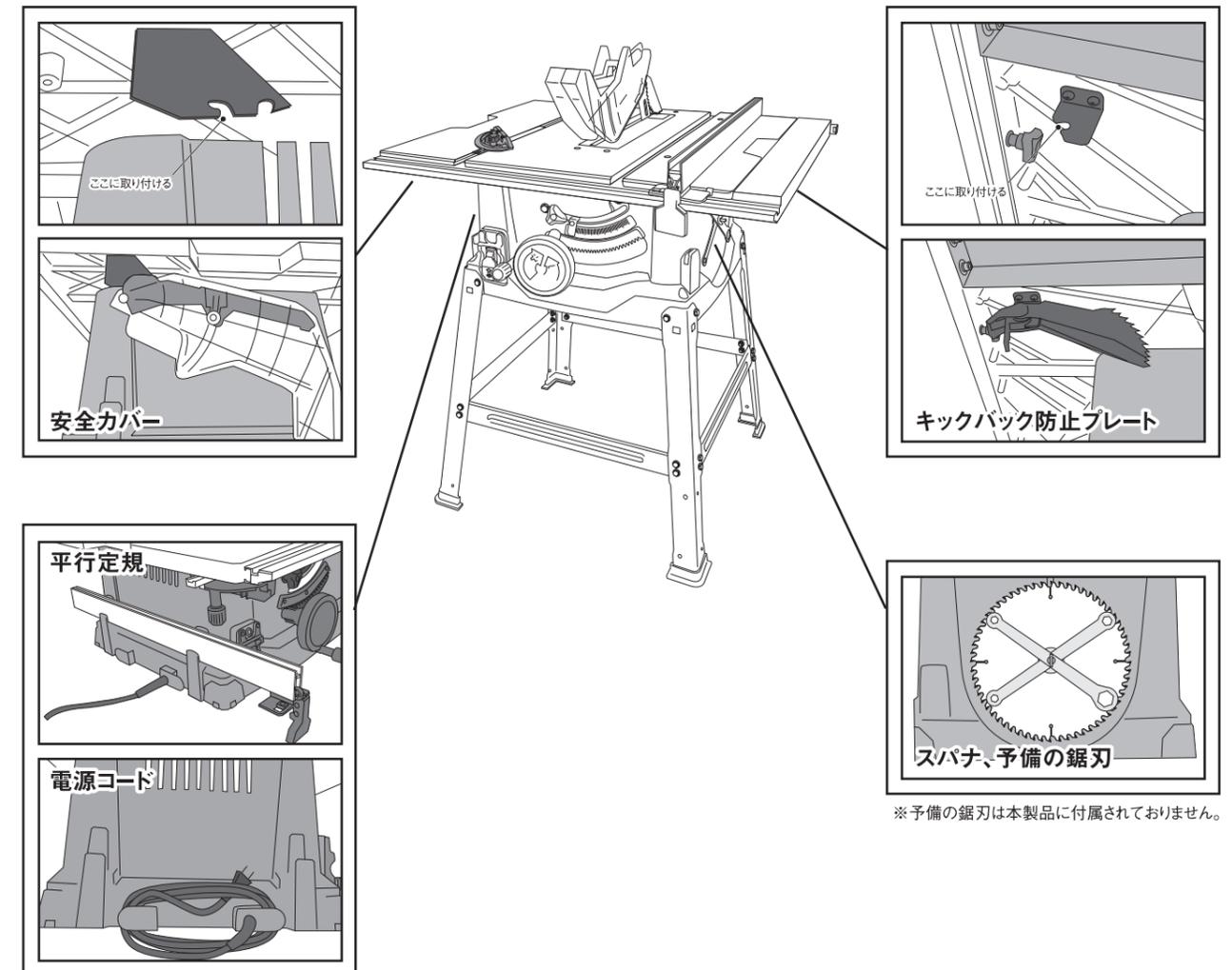
■収納について

テーブル本体を正面として

- ・安全カバー
 左側テーブル裏面にありますブラケットに取り付けできます。ブラケット中央寄りの穴を使ってP18の“安全カバー取り付け”の項を参照に、同じ要領で逆さに取りつけてください。
- ・キックバック防止プレート
 右側テーブル裏面にありますブラケットに取り付けできます。P18の“キックバック防止プレートの取り付け”の項を参照に同じ要領で逆さに取りつけてください。
- ・電源コード、平行定規
 左側側面にそれぞれ収納できます。
- ・スパナ、予備の鋸刃 ※予備の鋸刃は本製品に付属されていません。
 テーブルに向かって右側側面にそれぞれ収納できます。
 中にある蝶ネジを外して奥から、樹脂ワッシャー→鋸刃→金属ワッシャー→スパナ→蝶ネジの順で取りつけてください。

左側裏面

右側裏面



※予備の鋸刃は本製品に付属されていません。

保守・点検

⚠ 警告



万一の事故を防止するために、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

●プラグを電源につないだまま行くと事故の原因になります。

各部取り付けネジ

●各部品の固定ネジにゆるみやガタつきがないか定期的に点検してください。

安全カバーの作動点検

●安全カバーがスムーズに作動するか確認してください。

作業後の保管

●作業後は必ず電源元よりプラグを抜いて、お子様の手の届かない場所へ保管してください。また、長期間使用しない場合は、ほこりやサビが付かないようにして保管してください。

清掃

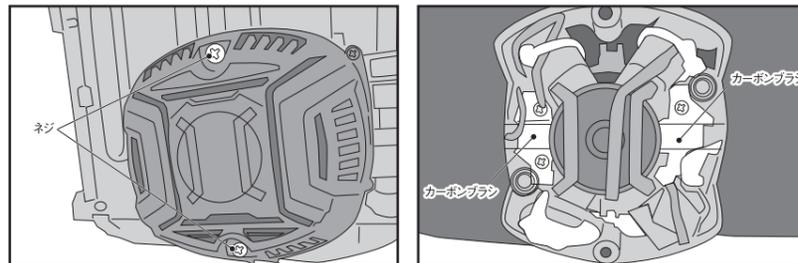
●粉塵やおが屑はこまめに取り除いてください。特にモーター・スイッチ周辺は粉塵の影響により故障が発生しやすいので注意してください。テーブル面や鋸刃に付着した、にかわや松ヤニも丁寧に取り除いてください。特に鋸刃に付着した樹液は、切断効率を低下させ、モーター負荷が大きくなり故障の原因となります。

モーター部の清掃について

●モーターのカーボンブラシ周辺は粉塵の影響が大きいため定期的に清掃してください。方法は以下の通りです。昇降ハンドルを回して、モーターを一番下まで下げ、モーター傾斜角度を45度にして固定してください。図のようにモーター後部の2点のプラスネジを外しカバーを外してください。この時カバーを強く取り外しますとカーボンブラシも外れる恐れがありますので、慎重にカバーをずらしてください。カーボンブラシが外れないよう抑えながら、エアブローガンや掃除機で粉塵を取り除いてください。

注油

- 昇降ハンドルや昇降ガイド軸
- モーター傾斜軸取り付け部
- モーター昇降駆動アーム部・安全カバーの回転部
- 平行定規の駆動部



■ 鋸刃の交換方法

⚠ 警告



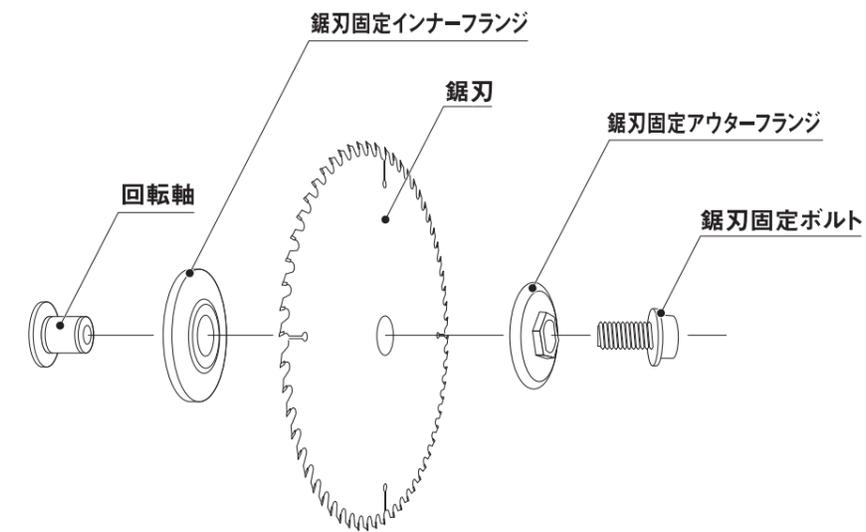
万一の事故を防止するために、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

●プラグを電源につないだまま行くと事故の原因になります。

鋸刃の切れ味が悪くなりますと切断能力が低下し、仕上げも悪くなります。また本機への負担も増加し故障の原因となりますので、切れ味が悪くなった鋸刃は 早めに交換してください。

1. テーブルインサートを取り外して、鋸刃を最高位置になるまで上昇させてください。
2. 付属のスパナ2種を使って、鋸刃固定アウターフランジを固定し、鋸刃固定ボルトを反時計回りに回してゆるめ、鋸刃を取り外してください。(鋸刃固定アウターフランジは、回転軸から取り外さないでください。)
3. 鋸刃を新しいものと交換し、下記の順序で鋸刃、フランジ、ボルトを回転軸に取り付けてください。

⚠ 注意 鋸刃の取り付け方向は、歯の向きがテーブル前方に向かって下向きになるように確認して取り付けてください。



4. スパナを使って、鋸刃固定ボルトを時計回り(テーブル後ろ方向)にしっかりと締め付けてください。
5. 鋸刃を手でゆっくりと回転させ、取り付け方向や振れなどの異常がなく、正常に取り付けられていることを確認してください。
6. テーブルインサートを取り付けてください。

